

議 長	副 議 長	議 員	議 員	議 員	議 員	議 員	議 員
							

令和7年6月10日

養父市議会議長 様

議員氏名 石本 毅

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

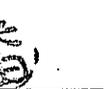
- 1 活動月日 令和7年5月19日(月)～5月20日(火)
- 2 活動場所
全国市町村国際文化研修所(大津市)
- 3 活動目的
市町村議会議員研修「自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～」への参加。
- 4 活動内容
金崎武庫川女子大学経営学部教授による自治体決算の意義と審査のポイントについての講義。
京都大学公共政策大学院名誉フェローによる行政評価等を活用した決算審査についての講義。
参加議員が属する自治体の財政状況に関する意見交換。
- 5 活動成果
自治体の財務状況の概要を知るためには、決算カードを使うことが有用であることを知ることができたことは収穫であった。また、決算カードの見方、使



い方について学ぶことができた。

議会が行政評価を絡めながら決算審査を行うことが有益であること、そのためには、予算書と連動したしっかりとした行政評価を作成しておくことが重要であることを再確認できた。

以上

決 裁	議 長	副 議 長	議 員	議 員	議 員	議 員	議 員	議 員
								

令和7年8月31日

養父市議会議長 様

議員氏名 石本 毅

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

- 1 活動月日 令和7年8月22日(金)
午後1時30分から午後4時00分まで
- 2 活動場所
いちのびあ(宍粟市一宮町)
- 3 活動目的
研修会への参加。
演題「議員の資質向上と議会運営の基本」
講師 高沖 秀宣 氏(自治体議会研究所 代表)
- 4 活動内容
上記演題のテーマによる研修を受けることで、議会改革のあり方につき学んだ。宍粟市議会議員数名も参加し、短時間ではあるが、研修後意見交換を行った。
- 5 活動成果
以下の諸点等につきの講師よりの説明があり、自らの考えを再確認できた。



・講師は市議会議員の役割と議会の機能に関し、主に、二元代表制における議会の重要性、議決機関としての役割、そして政策立案・監視機能の強化の重要性について説明。具体的には以下の通り。

・議会は単なる「議決機関」ではなく憲法、地方自治法に規定される「議事機関」、これは単に議決するだけでなく、審議・熟議する機関である。

・多くの議会が形骸化、実質的な機能を果たしていない。特に市長による専決処分の増加が議会の形骸化を加速、対応策として通年議会の導入は有益。

・議会と市長の関係について「車の両輪」という表現は適切ではない。即ち、市長と一緒にの車と一緒に乗るのではなく、議会独自の車を持つべきだと主張。市長と議会は同じ目標（市民福祉の増進等）を持ちながらも、別々の道を進むことがあるべき姿。

・議会力を高めるための方策として、予算修正、政策提言、政策条例の制定がある。常任委員会を活用した政策提言の仕組みづくりは有益。また、議会の通年制導入による議員の負担増に対しては、議員報酬の増額や事務局職員の増員で対応すべき、議員報酬増とのバーターでの議員定数減は厳に避けるべき、たとえ議員報酬が増えなくとも政務活動費は増やすべき（執行率も高めるべき）。

・加えて、オンライン委員会の導入や、議会の附属機関設置なども検討しながら、議会のレベルアップ（≒議会改革）を図っていくべき。

以上

議 長	局 長 等	次 長	リ ー ー	担 当	百	議
決 裁						

令和7年11月10日

養父市議会議長 様

議員氏名 石本 毅

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

1 活動月日 令和7年10月20日(月)～10月21日(火)

2 活動場所

全国市町村国際文化研修所(大津市)

3 活動目的

市町村議会議員研修「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」への参加。

4 活動内容

北川早稲田大学名誉教授による地方議会、なかんずく議会改革の展望についての講義。

上田加賀市議会副議長、中村早稲田大学デモクラシー創造研究所地域経営部会長による住民参加・情報公開を進めるための議会活動の紹介。

村田大地奈良県王寺町議会事務局係長による議会広報の作成ノウハウについての紹介。

右に関する各市町議会からの参加者による課題の抽出と今後の方向性についての議論



5 活動成果

北川教授の講演では、議会の役割が単なる執行部の監視のみならず、民意の反映のための政策立案・条例制定が重要であること、チーム議会、事務局の強化の重要性、議会改革は量的削減ではなく質的充実が重要であること、一点突破全面展開の考えの紹介がなされた。右を通じて、自らの考えの立ち位置を再確認できた。

積極的に議会活動をして、それだけでは必ずしも市民との距離が近づいていると感じられない部分がある、議員の資質による部分が大きいという点は示唆に富むと感じた。

広報のあり方については、とても参考になったが、見た目や読みやすさだけでなく、市役所の広報とは一味違う議会ならではの広報をつくる必要があると感じた。

以上